

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-144947

(43)Date of publication of application : 20.06.1991

(51)Int.Cl.

G11B 15/02

(21)Application number : 01-283900

(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD

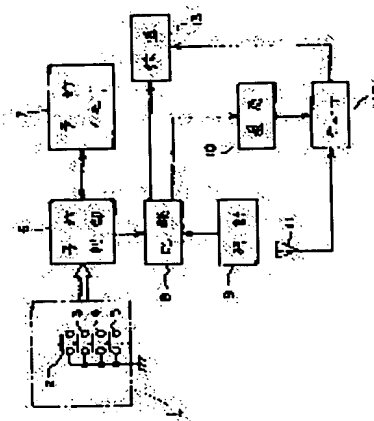
(22)Date of filing : 31.10.1989

(72)Inventor : IBE SHUNJI

(54) VIDEO TAPE RECORDER

(57)Abstract:

PURPOSE: To daily and continuously perform the timer video recording for several days and to improve the handling of the recorder by setting optionally the number of video recording times for a program in order to perform daily and continuously the video recording of the program in the same time zone for prescribed times. **CONSTITUTION:** When a program setting button 2 is pressed, a setting mode is effective and hence a position is set by a position setting button 2, while a data is set by a date setting button 4. In this case, when a day of '0' is inputted, a continuous video recording mode is effective, and this mode is capable of setting a number of times (m) for executing a program. At this time, the program execution times are set, so that the program in the same time zone can daily and continuously be video-recorded the prescribed times in response to the setting. Then, when the present time is conformed with a starting time by a comparing circuit 8, the timer video recording is executed to be completed at the ending time. By this method, the handling of recorder is improved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-144947

⑬ Int. Cl.³
G 11 B 15/02

識別記号 庁内整理番号
3 2 8 S 8022-5D

⑭ 公開 平成3年(1991)6月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ビデオテープレコーダ

⑯ 特 願 平1-283900

⑰ 出 願 平1(1989)10月31日

⑱ 発 明 者 伊 部 俊 二 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内
⑲ 出 願 人 三 洋 電 機 株 式 有 限 公 司 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地
⑳ 代 理 人 弁 理 士 西 野 卓 嗣 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称

ビデオテープレコーダ

2. 特許請求の範囲

(1) 同一時間帯の番組を毎日連続してN回録画すべく、前記連続録画回数Nを任意に設定できるようにしたビデオテープレコーダ。

3. 発明の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

本発明は番組予約録画が可能なビデオテープレコーダ(VTR)に関する。

(ロ) 従来の技術

タイマー録画機能を有するVTRでは、任意のチャンネル及び時刻にタイマー録画を行なうか、または毎日同一チャンネル、同一時刻にタイマー録画を行なうか(通常「毎日録画」と呼ばれる)、または特開昭60-251782号公報(H04N5/00)に記載されている如く、一定期間の同一チャンネル、同一時刻にタイマー録画を行なうかのいずれかの機能を有している。

(ハ) 発明が解決しようとする課題

ところで、3日間連続、7日間連続など任意の一定期間にタイマー録画を設定する場合、複数のプログラムを夫々日付だけ変更して設定しておくが、この場合所定のプログラム数以上の設定はできない。

また、毎日録画モードにした場合、番組終了後プログラムを消し忘れると余分な番組まで録画してしまうことになる。

このように従来のVTRでは数日間毎日連続して放送される番組をタイマー録画するには大変不便であった。

従って、本発明はかかる問題点を解決しようとするものである。

(ニ) 課題を解決するための手段

本発明のビデオテープレコーダは、同一時間帯の番組を毎日連続してN回録画すべく、前記連続録画回数Nを任意に設定できるようにしたものである。

(ホ) 作用

BEST AVAILABLE COPY

上記構成によれば、任意の期間(1~N日)に連続して同一チャンネル、同一時刻のタイマー録画プログラムができる。

(ヘ) 実施例

以下、本発明の一実施例を第1図及び第2図を参照しつつ説明する。

第2図は本発明を実施したVTRの要部ブロック図、第1図はその動作フローチャートを示しており、第2図において、(1)はプログラム設定ボタン(2)、ポジション設定ボタン(3)、日付設定ボタン(4)、時刻設定ボタン(5)を有する操作ボタン部、(6)は予約制御回路、(7)は番組予約データを記憶する予約メモリ、(8)は比較回路、(9)は時計回路、(10)は選局回路、(11)はアンテナ、(12)はチューナ、(13)は録画回路である。尚、前記予約制御回路(6)、予約メモリ(7)、比較回路(8)、時計回路(9)及び選局回路(10)はマイクロコンピュータにて構成される。

次に第1図のフローチャートを参照しつつ第2図の回路動作を説明する。

のタイマー録画であればタイマープログラムをキャンセルし終了するが、連続録画モードすなわち、日付設定時に「0」日が入力された場合と判断されると(S₁₁)、上記カウンタ値Nとプログラムの実行回数mを比較する(S₁₂)。

ここで、 $N \geq m$ であればタイマープログラムをキャンセルし(S₁₃)終了するが、 $N < m$ であればカウンタ値Nを+1インクリメントし(S₁₄)、その後再びステップ8に戻り同様の動作を行ない、 $N \geq m$ となった時点でタイマープログラムをキャンセルし(S₁₅)、終了する。このようにプログラム実行回数mを任意に設定することで1~m日間連続録画が行なえる。

(ト) 発明の効果

以上述べた通り本発明によれば、プログラム実行回数mを設定するだけで、任意の期間(1~m日)連続して同一チャンネル、同一時刻のタイマー録画を実行させることができ、極めて使い勝手が良くなる。

4. 図面の簡単な説明

まず、プログラム設定ボタン(2)を押すと、タイマープログラム設定モードに移行するが、この後ポジション(チャンネル)の設定をポジション設定ボタン(3)で行ない(S₁)、次に日付の設定を日付設定ボタン(4)で行う(S₂)。この日付け設定時に、「0」日が入力されると(S₃)連続録画モードとなり、プログラム実行回数(m)の設定が可能なモードとなって(S₄)、このときプログラム実行回数の設定が行なわれ、また予約制御回路(6)内のカウンタ値も「1」となる(S₅)。

この後、タイマー録画開始時刻及び終了時刻を時刻設定ボタン(5)で設定すると(S₆)(S₇)、タイマースタンバイモードに移行する(S₈)。尚、ステップ3(S₃)で「0」日以外の日付データが入力されると、通常のタイマー録画モードとなり、ステップ6に移行する。

そして、比較回路(8)において現在時刻が開始時刻と一致すると(S₉)、タイマー録画を実行し(S₁₀)、終了時刻で終了する。このとき通常

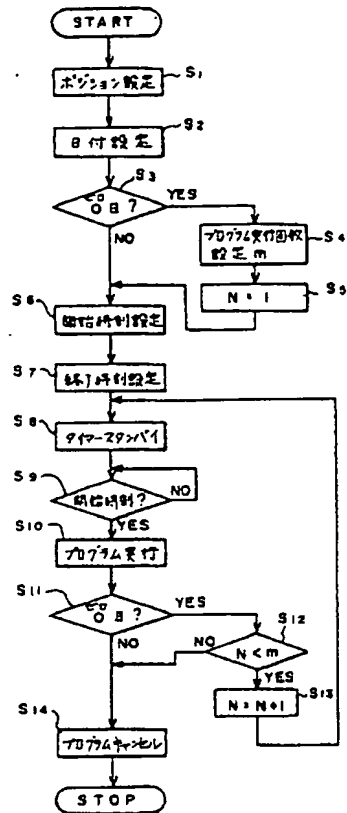
第1図は本発明を実施したVTRの動作フローチャートを示す図、第2図は本発明を実施したVTRの要部ブロック図である。

(4)…日付設定ボタン、(6)…予約制御回路。

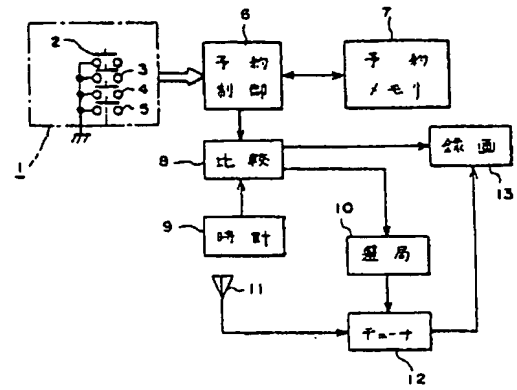
出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西野卓嗣(外2名)

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY